

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	スワープ・ジーティー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：スワープ・ジーティー**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

**比較対照ボール：スワープ**

フレアーの幅  インチ

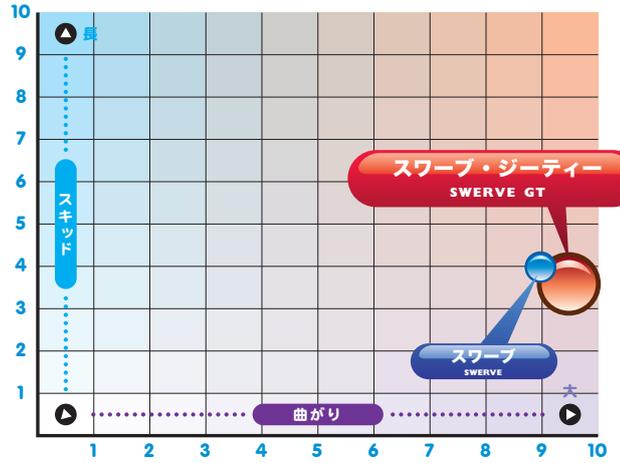
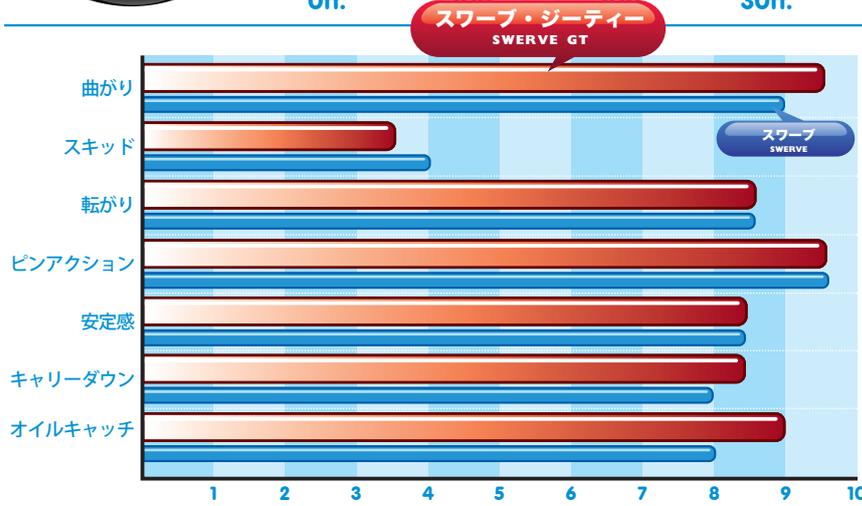
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  インチ

5



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

今までColumbia社はボールの曲りを求めたとき、主にSolid Coverを採用させていました。それはMid Laneでしっかりと減速させる必要性を重要視し、全体的な曲り幅は大きくさせるもの、ことBackendだけにフォーカスさせるとメリハリ感の不足は否めませんでした。その反面Medium領域以下のPearl素材のドライゾーンでのメリハリ感他社に引けを取らないPerformanceを持っていることを念頭におくと、HybridもしくはPearl素材でオイルに強いCoverstockが出来上がれば、黄金時代はすぐにも訪れると感じています。今回このSWERVE GTはHybrid素材で現在Columbia社で最もオイルに強いボールに仕上がった逸品です。6月に行われたID BOWLING TOURで試投会対象の一つとなったSWERVE GTは、一番多く投球されたボールでした。実際投げた皆さんの感想は、「手前からかなり強くキャッチしますが、奥でも強く曲がる」と、「手前と奥と2段まがりする感じ」というアンケート結果を頂きました。私のテストングのイメージもほぼ同等で、今までのColumbia社High Performance領域で手前のオイルの必要度とBackendの動き幅過去最高と、モンスター級の強力なボールに仕上がっていると感じました。注目して頂きたいのが今回採用されているREFLEX HYBRID Coverstockでしょう。今までこのPerformanceは出せなかったと言っても良いほどオイルに強く、それでいて減速を感じさせないBackendの動きは、Columbia社のCoverstock開発はかなりのレベルにある表れであり、それにHyper Shock Technologyが加わり、柔らかい重厚感のあるピンアクションが得られると思うと、容易に良いボールだと想像できてしまうでしょう。オイルの中をグイグイ曲がる「圧倒的な性能」は今までのHigh Performance領域のイメージを一新させるでしょう。

### 特記事項

過去最高のキャッチとバックエンドの動き、それに無二のピンアクションを魅せるHyper Shock Technologyが組み合わさった最高峰のボールです。一番オイルに強いボールを探している方はこのボールで決まります。